

平成22年度 リンゴ関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成22年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成23年2月8日(火)にメトロポリタン盛岡において開催された。

この検討会には、試験場関係者23名、委託関係者20名ほか、計51名の参集を得て、除草剤2薬剤(4点)、生

育調節剤8薬剤(32点)、展着剤1薬剤(2点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成22年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
1. SB-211 フェアフル 既知化合物A:20% 既知化合物B:3% [ス・デ・イー・エス・ハ・イ・オ・ア・ク]	リンゴ	適用性 新規	青森りんご研県南 (王林) 長野県試 (つがる) (2)	ねらい 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 全般 多年生広葉 全般 その他 スキナ 設計 薬量 雑草生育期(30cm以下) (春期及び夏期) 500mL <100L /10a 750mL <100L 1000mL <100L 対) ハース 雑草生育期(30cm以下) 500mL <100L	刈取り代用	継	継) ・効果、被害の確認
2. SB-212 フェアフル 既知化合物A:20% 既知化合物B:3% [ス・デ・イー・エス・ハ・イ・オ・ア・ク]	リンゴ	適用性 新規	青森りんご研県南 (王林) 長野県試 (つがる) (2)	ねらい 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 全般 多年生広葉 全般 その他 スキナ 設計 薬量 雑草生育期(30cm以下) (春期及び夏期) 500mL <100L /10a 750mL <100L 1000mL <100L 対) ハース 雑草生育期(30cm以下) 500mL <100L	刈取り代用	継	継) ・効果、被害の確認

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
1. AF-1 粉末 1-ナフチルプロパノール 3.3% [三井物産, Agrofresh Inc.]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	<岩手> (1)	ねらい 貯蔵性向上, 設計 密閉容器内暴露処理 収穫直後(24時間以内) 1000ppb 薬量 <水量> /10a	・収穫後くん蒸処理 ・薬剤処理は常温下 で24時間程度密閉状 態を保持する	—	(試験中)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)>	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
2. AF-3 くん蒸成型 1-メチルピコリン酸 : 0.628% (7.85g a.i./袋(1.25g)) 【*三井物産, Agrofresh Inc.】	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	宮城園研<中間> 石川 能登 (2)	ねらい 貯蔵性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収獲直後(24時間以内) ・ 1000ppb (1錠/3.5m ³) <水量> /10a	・ 収獲後くん蒸処理 ・ 薬剤処理は常温下 で24時間程度密閉状 態を保持する	実・ 継	実) [リンゴ(ふじ、シナゴールド、つが る)]; 収獲果実の貯蔵性向上] ・ 収獲当日(24時間以内) ・ 1000ppb ・ 製剤から発生する気体に密 閉条件で24時間暴露
	リンゴ (ふじ)	適用性 新規 (H21)	宮城園研 (1)	ねらい 貯蔵性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収獲直後(24時間以内) ・ 1000ppb (1錠/3.5m ³) <水量> /10a	・ 収獲後くん蒸処理 (H21年度分) ・ 薬剤処理は常温下 で24時間程度密閉状 態を保持する	継)	・ 効果、被害の確認 (王林、シナゴールド、秋陽)
	リンゴ (王林)	適用性 新規	青森りんご研 石川 (2)	ねらい 貯蔵性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収獲直後(24時間以内) ・ 1000ppb (1錠/3.5m ³) <水量> /10a	・ 収獲後くん蒸処理 ・ 薬剤処理は常温下 で24時間程度密閉状 態を保持する		
	リンゴ (つがる)	適用性 継続	秋田果試 岐阜 中山間 (2)	ねらい 貯蔵性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収獲直後(24時間以内) ・ 1000ppb (1錠/3.5m ³) <水量> /10a	・ 収獲後くん蒸処理 ・ 薬剤処理は常温下 で24時間程度密閉状 態を保持する		
	リンゴ (シナゴ ールド)	適用性 新規	<岩手> 山形園試 (2)	ねらい 貯蔵性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収獲直後(24時間以内) ・ 1000ppb (1錠/3.5m ³) <水量> /10a	・ 収獲後くん蒸処理 ・ 薬剤処理は常温下 で24時間程度密閉状 態を保持する		
3. AH-01 液 グァネチン・P・トリカミ塩 : 11.5% 【*明治製菓, 北興化学工業】	リンゴ	適用性 新規	長野果試<中間> (ふじ) (1)	ねらい 設計 密閉容器内で暴露処理 収獲直後(24時間以内) ・ 1000ppb (1錠/3.5m ³) <水量> /10a	・ 収獲後くん蒸処理 ・ 薬剤処理は常温下 で24時間程度密閉状 態を保持する		
	リンゴ (秋陽)	適用性 新規 (自主)	山形園試 (1)	ねらい 貯蔵性向上 設計 密閉容器内で暴露処理 収獲直後(24時間以内) ・ 1000ppb (1錠/3.5m ³) <水量> /10a	・ 収獲後くん蒸処理 ・ 薬剤処理は常温下 で24時間程度密閉状 態を保持する		
4. AKD-8086 水和 メチルピコリン酸: 25% 【79° 唯ネシヨリ】	リンゴ (早生 系ふじ)	適用性 継続	秋田果試 (やたか) 山形園試 (紅将軍) (2)	ねらい 摘葉 設計 立木全面または枝別散布 収獲開始予定日の30日前 1000倍 <400~700L> 1500倍 <400~700L> 2000倍 <400~700L> <水量> /10a	・ 品種拡大 ・ 果そう葉に対する 摘葉効果を調査する	継	継) ・ 効果、被害の確認 (早生系ふじ)
	リンゴ	適用性 継続	岩手<中間> (さんさ) (1)	ねらい 花芽形成促進 設計 立木全面散布 満開6.8, 10週間後/3回 4000倍 <300~600L> 8000倍 <300~600L> <水量> /10a	・ 立木全面散布	試 験 中	
5. AKD-8152 水溶 1-メチルピコリン酸: 4.4% 【79° 唯ネシヨリ】	リンゴ	適用性 継続	山形園試(ふじ) 長野果試(ふじ) (2)	ねらい 摘花 設計 立木全面または枝別散布 中心花満開翌日(1回) 3000倍 <300~600L> 中心花満開5日後(1回) 3000倍 <300~600L> 中心花満開翌日及び5日後(2回) 3000倍 <300~600L> 対) 石灰硫黄合剤 立木全面または枝別散 布 中心花満開後(2回) 100倍 <十分量> <水量> /10a	・ 立木全面または枝 別散布 ・ 頂芽中心満開時に 人工受粉を行う	継	継) ・ 効果、被害の確認
	リンゴ (秋陽)	適用性 継続 (自主)	山形園試 (1)	ねらい 収獲前落果防止 設計 立木全面または枝別散布 収獲開始予定14日前(1回) 2000倍 <十分量> 対) ストップ 1500倍(1回) <十分量> <水量> /10a	・ 立木全面または枝 別散布	実 (従 来 ど お り)	実) [リンゴ; 収獲前落果防止] ・ 収獲開始予定日の21~7日前 ・ 1000~2000倍 1回散布 <300~600L/10a> ・ 立木全面散布 ・ 収獲開始予定日の21~14日前、 及びその7~10日後 ・ 1000~2000倍 2回散布 <300~600L/10a> ・ 立木全面散布 参考) 効果が確認された品種; きおう、つがる、王林、 紅玉、陽光

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
6. AKD-8156 水溶 1-ナフタリ酢酸ナトリウム ：4.4% 〔アダ・サキョリ〕	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	青森りんご研 岩手 宮城園研 秋田果試 福島果樹研 富山果樹研 長野果試 (7)	ねらい つる割れ軽減 立木全面または枝別散布 満開14日後(1回) 3000倍 <300～600L> 満開21日後(1回) 3000倍 <300～600L> 満開28日後(1回) 3000倍 <300～600L> 設計 薬量 <水量> /10a	・木全面または枝別散布	実・継	実) [リンゴ(ふじ)：つる割れ軽減] ・満開20～30日後 ・3000倍希釈(十分量) ・立木全面散布 注) ・処理により果実肥大が抑制される場合がある ・処理により葉の黄化や葉のしおれがみられる場合がある ・樹勢の弱い樹での使用は避ける 継) ・処理時期について ・連年施用による樹体への影響について ・樹勢の違いによる効果・薬害の変動について
	リンゴ (早生 系ふじ)	適用性 継続	秋田果試 山形園試 (2)	ねらい つる割れ軽減 立木全面または枝別散布 満開14日後(1回) 3000倍 <300～600L> 満開21日後(1回) 3000倍 <300～600L> 満開28日後(1回) 3000倍 <300～600L> 設計 薬量 <水量> /10a	・立木全面または枝別散布		
7. CS-20H 水和 イソクサ酸：75% 〔白石サキョリ〕	リンゴ	適用性 継続	青森りんご研 (シヨウ・ガ、つがる) 岩手 (シヨウ・ガ、ふじ) 秋田果試(王林) (3)	ねらい 摘花 枝別処理 満開期→1回目の2～3日後 200倍 2回 <十分量> 250倍 2回 <十分量> 300倍 2回 <十分量> 対) 石灰硫黄合剤 散布 満開期→1回目の 2～3日後 100倍 2回 <十分量> 設計 薬量 <水量> /10a	・枝別処理 ・一回目処理は頂芽 中心花の開花2～3日 後に行う	実・継	実) [リンゴ(ふじ、シヨウ・ガ)：] 摘花 ・頂芽中心花満開 2～3 日後及び その 2～3 日後 ・200～250倍 2 回散布 ・立木全面散布 注) 高温条件や散布後葉液が乾きにくい条件では、葉縁部や花弁の褐変、果面のさびなどが発生することがある 継) ・効果、薬害の確認 (つがる、王林) ・年次変動の確認 ・300倍処理での効果、薬害の確認 (ふじ、シヨウ・ガ)
				ねらい 摘花 立木全面または枝別散布 満開日およびその2～3日後 150倍 <十分量> 100倍 <十分量> 対) 石灰硫黄合剤 100倍 <十分量> 対) エコルマー 100倍 <十分量> 設計 薬量 <水量> /10a			
8. MAE30B 水和 リン酸カルシウム：77% レシチン：23% 〔丸尾サキョリ〕	リンゴ (さんさ)	適用性 継続	岩手 秋田果試 (2)	ねらい 摘花	・品種拡大 ・立木全面または枝別散布 ・頂芽中心花満開時に人工受粉を行い、その翌日に一回目の処理を行う	実・継 (従来どおり)	実) [リンゴ：摘花] ・満開日及びその 2～3 日後 ・100～150 倍 2 回散布 ・立木全面散布 注) 頂芽中心花満開(頂芽中心花の7～8割が開花した日)の翌日に使用すると摘花効果が高い 参考) 効果が確認された品種： ふじ、シヨウ・ガ、つがる、さんさ 継) ・年次変動の確認(さんさ)

C. 展着剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	試験された内容
1. マイノール 水溶液 α-リゾレキレング リコルアルキル エーテル：27.0% 〔日本農薬〕	リンゴ	適用性 新規	福島果樹研 (ふじ) 栃木(ふじ) (2)	ねらい 効果安定性、薬害の確認 立木全面または枝別散布 満開2～3週間後 0mL/10L(散布液) <十分量> (無加用区) 0.5mL/10L(散布液) <十分量> 2.0mL/10L(散布液) <十分量> 4.0mL/10L(散布液) <十分量> (倍量薬害試験区) 設計 薬量 <水量> /10a	・摘果剤(ミロデ・ホーン 水和)との混用	一	[リンゴ：摘果] ・満開2～3週間後 ・0.5～2.0mL/散布液10L (ミロデ・ホーン水和500倍液に 加用) ・立木全面または枝別散布